

きょういく 武蔵野

No.132

平成29年3月31日発行

もくじ

- 1面 武蔵野市教育委員会基本方針と予算について
オリンピック・パラリンピック教育の推進
- 2面 学校施設整備基本計画中間のまとめを作成しました
Sports for all
- 3面 「児童・生徒の学力向上を図るための調査」結果について
児童生徒表彰・子ども図書館文芸賞 表彰式の実施
- 4面 特別支援教室とひまわり学級の開設
新教育委員の就任 など

発行 ■ 武蔵野市教育委員会 編集 ■ 教育企画課 ☎0422-60-1894 〒180-8777 武蔵野市緑町2-2-28 http://www.city.musashino.lg.jp/kurashi_guide/kyoikui/index.html

平成29年度 武蔵野市教育委員会の基本方針と予算について

教育委員会は、2月の教育委員会定例会で、「平成29年度武蔵野市教育委員会の基本方針」を決定しました。また、2月から始まった市議会定例会にて、教育費を含む平成29年度予算が議決されました。平成29年度は下記の基本方針に基づき、学校教育と社会教育の連携を図りながら特色ある教育を推進していきます。

1 豊かな心や感性をはぐくむ教育の推進

人権教育や社会体験、自然体験、交流活動などの学習の機会を充実を図ります。文化的・芸術的なものに直接触れる教育活動を通して、子どもたちの豊かな感性や情操を育みます。



主要事業 ●セカンドスクール・プレセカンドスクール 約1億4,650万円
●オーケストラ鑑賞教室・演劇鑑賞教室 約991万円

2 確かな学力の向上と個性の伸長

基礎的・基本的な知識・技能の定着を図り、学ぶ意欲や思考力・判断力・表現力等の資質・能力を育みます。特に、平成29年度は、小中連携教育研究協力校を指定し、小学校における一部教科担任制、小中学校教員の相互乗り入れ授業、小中学校の学級・教科担任及び学習指導員によるチーム・ティーチングについての研究を行います。

主要事業 ●学習指導員の配置及び「学習支援教室」の充実 約3,185万円

3 健全育成の推進と体育・健康に関する指導の充実

子どもたちが日常生活の中で豊かな情操や感性を培うとともに、基本的な生活習慣を身に付け、健康で規則正しい生活を送ることができるよう健全育成を推進するとともに、体育・健康に関する指導を充実しに努めます。

主要事業 ●オリンピック・パラリンピック教育の実施 約540万円
●体力向上・健康づくりの取組の充実 約184万円

4 社会の変化に対応し、教育課題の解決に向けた取組の推進

学校教育や社会教育の場を通して、ICT機器を活用した教育や、国際理解教育・英語教育、安全教育、市民性を高める教育、環境教育、キャリア教育などを充実させ、諸課題の解決に向けた資質や能力を伸長する教育を推進します。

主要事業 ●学習活動でのICT機器の積極的な活用、整備 約2億8,769万円
●小学校外国語活動への支援 約1,110万円

5 学校経営の改善・充実

学校の多忙化解消に向けた取組を推進するとともに、学校経営計画に基づく教職員の協働体制を確立し、保護者・市民から信頼される質の高い教育の推進に取り組みます。学校、家庭・地域との意見交流を深め、その教育力を活用した開かれた学校経営を推進する仕組みづくりを行います。さらに、次期学習指導要領が示す「社会に開かれた教育課程」の実現に向け、地域の声を反映し、子どもたちの姿や地域の現状等を一層踏まえた教育課程づくりを進めます。

主要事業 ●学校事務支援の充実 約832万円

6 生涯学習・スポーツ事業の充実

学習する方の自発性を尊重するという基本に立ち、年齢や障害の有無等にかかわらず市民一人一人の生涯学習・スポーツへの意欲を促し、多様なニーズに応えるよう、生涯学習・スポーツ事業の充実を体系的に進めます。



主要事業 ●利便性向上などのための陸上競技場改修工事 約3億8,467万円
●総合体育館アリーナ特定天井等改修工事 約3億4,079万円

7 生涯学習の基盤となる施設の整備・充実

図書館をはじめとした生涯学習施設の整備・充実を図り、ともに学び、つなぎあうひと・まち・文化の拠点としての役割を担っていきます。



主要事業 ●吉祥寺図書館リニューアルの推進 約4億1,920万円
●武蔵野ふるさと歴史館の管理と運営 約6013万円

基本方針の全文は、市のホームページに掲載しています。また、市全体の予算については、市報3月15日号の特集記事でも紹介しています。

☎ 教育企画課 教育企画係

市内の全小・中学校で オリンピック・パラリンピック教育を推進しています!

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向け、市内全小・中学校で「オリンピック・パラリンピック教育」の取組を進めています

平成28年1月に、東京都教育委員会は「東京都オリンピック・パラリンピック教育実施方針」に基づき、都内すべての公立学校において、東京におけるオリンピック・パラリンピック教育を実施することとしました。これを受け、武蔵野市においても、各学校において東京都教育委員会が示す「オリンピック・パラリンピック教育」における5つの資質（ボランティアマインド、障害者理解、スポーツ志向、伝統・文化理解、国際理解）を育成する取組を展開しています。

例えば、障害者理解について、ある学校では、総合的な学習の時間に車いすバスケットボール選手との交流や、実際に車いすバスケットボールを体験することを通して障害者スポーツへの理解を深める取組を行っています。



車いすバスケットボールの体験の様子

また、国際理解については、世界の国々の様々な言語、文化、歴史などを学ぶ「世界ともだちプロジェクト」があります。武蔵野市は東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会においてルーマニアのホストタウンに決定していることもあり、市内在住のルーマニアの方をゲストティーチャーとしてお迎えし、ルーマニアの生活や文化などについてお話ししていただくなどの取組を行っています。



ルーマニア大使館の方との交流

その他に、一流アスリートとの交流やボランティア活動の取組など、各学校では創意工夫をしてオリンピック・パラリンピック教育を推進しています。平成28年11月には、これらの各校の取組を「第11回むさしの教育フォーラム」にて報告しました。

今後も、オリンピック・パラリンピック教育を推進する中で、思いやりの心や共生社会・国際社会への理解、スポーツに親しむ姿勢の育成を推進していきます。

☎ 指導主事

第8回 中学生「東京駅伝」大会 ～チーム武蔵野健闘しました!～



2月5日(日)に東京都教育委員会が主催する第8回中学生「東京駅伝」大会に市内中学校の中学2年生代表メンバー(男女各21名 合計42名)が参加しました。大会当日までに5回の合同練習会を実施し、当日は味の素スタジアム・都立武蔵野の森公園の特設コース(女子30km、男子42.195km)を全力で走り、タスキをつなぎました。結果として参加50チーム中、男子は12位(タイム2時間23分34秒)、女子は22位(タイム1時間58分31秒)、総合で14位(4時間22分5秒)と健闘し、これまでの市最高記録を男女ともに更新しました。



力走後の選手達の様子

☎ 指導主事

学校施設整備基本計画中間のまとめを作成しました

平成27年6月に設置した学校施設整備基本計画策定委員会における検討状況をまとめ、目指すべき学校施設の基本的な方向性や、策定委員会で議論となった点について、市民の皆様の意見を聞くため、中間のまとめを公表します。また、教育委員会内に設置していた小中一貫教育調査研究ワーキングチームの検討のあらましがまとまりましたので、あわせて公表します。

第1章 学校施設整備基本計画について

1 学校施設整備基本計画の位置づけ

武蔵野市学校施設整備基本方針を具体化させ、関連する市の計画等との整合を図り、質の高い教育を可能とする環境整備を盛り込み、今後の20年間を見据えた計画とすることが求められます。

現在小中一貫教育実施についての方向性は定まっていないため、小中学校別改築、小中一貫教育校(施設一体型義務教育学校)建築の両方の可能性を見据えた記載とされています。

- 2 計画の期間と見直しサイクル
- 3 本市の学校施設をめぐる現状
- 4 本市の学校施設をめぐる課題

第2章 学校施設整備に向けた考え方

1 これからの武蔵野市の学校教育に求められる目標

義務教育9年間を通して、意図的・計画的に発達段階に応じた教育を進め、社会の中で自分の役割を果たしながら、人間力を高め、自分らしい生き方を実現する教育を目指します。

配慮を要する子どもへの特別な支援をはじめ、子どもの貧困問題の解決や地域コミュニティの活性化という視点に立って、学校と保護者や地域の方々が力を合わせて子どもたちの育ちや学びを支援する地域基盤をより一層確かなものとします。

2 学校施設整備に向けた考え方

- (1) 学習や教育の変化に対応し、主体的・協動的な学びができる学校
- (2) 健康的かつ安全で豊かな、ユニバーサルデザインに配慮した学校
- (3) 周囲の環境と調和し、地域のつながりを育てる学校

第3章 計画・設計の具体的条件

- 1 施設規模(各諸室の必要規模及び室数)
- 2 各諸室等の配置(ゾーニング)

武蔵野市小中一貫教育調査研究ワーキングチームにおける論点整理を作成しました

このほど、本市における現在の小中一貫教育についての検討状況をまとめました。今後、学校関係者、市民等の意見や、平成29年度に設置する小中一貫教育検討委員会における検討などをもとに、本市の未来の学校教育の方向性を定めていきます。

これからの武蔵野市の学校教育に求められる目的

- 保護者や地域の方々のご協力をいただきながら、9年間の義務教育課程を通して、これまで取り組んできた知徳体のバランスのとれた教育を一層推進する。
- 学校が子どもたちにとっての居場所となり、子どもたちが安心して生活できるよう、教育目標や教育方針を学校教職員、保護者と地域の方々で共有し、一体となって子どもたちの望ましい成長を支援する場とする。

武蔵野市として9年間の小中一貫教育を実施する場合の考え方

地域社会の中で6～15歳の子どもたちが小・中学校の教員・職員とともに同じ校舎で学び育つ義務教育学校

- 全市のよりよい教育を保障するため、全区に設置
- 現行の小中学校を基本とした地域コミュニティの9年間のつながりと発展
- 4-3-2の学年区切りによる特色ある教育課程の実施
- 9年間の子どもの育ちや学びを支える福祉機能の充実
- 9年間の教育活動を保障するため、元校地を第2校地として活用
- 「開かれた学校づくり協議会」を発展させた学校と地域との協働体制の確立

☎ 教育企画課 教育企画係

★ ★ ★ Sports for All ★ ★ ★

誰もがスポーツに参加できる環境づくりを目指して、武蔵野市はオリンピック・パラリンピック等国際大会に向けたイベント名を「Sports for All」としました。この言葉は、オリンピック憲章においても奨励されているものです。

★★★ 開催報告 ★★★

★ Sports for All サッカー ★

12月25日(日)に、武蔵野陸上競技場で「Sports for All サッカー」を開催しました。ブラインドサッカーをはじめとする各種サッカー体験や講演会、豪華ゲスト(岩淵真奈選手ほか)によるトークイベントやデモンストレーション、サッカークリニックに、539名の方が参加しました。

トップ選手の技に会場は大いに盛り上がり、その後のサッカークリニックで一緒にプレーした子ども達にとっては忘れられない経験になりました。



最高のクリスマスプレゼントになりました。



ゲストトークにみんな聞き入っていました。

★ Sports for All パラリンピック競技体験 ★

3月5日(日)に、武蔵野総合体育館で「Sports for All パラリンピック競技体験」を開催しました。「駅伝・マラソン大会」との同時開催とし、同大会の受付があるメインアリーナにて、パラリンピック競技である車椅子バスケットボールやボッチャの体験、パネル展示を行い、60人が参加しました。

駅伝やマラソンを走り終えた方や応援に駆け付けた方に、パラリンピック競技の体験を通じて、障害のある方も含めた全ての方がスポーツを楽しむことの大切さを共有しました。



パラリンピック競技体験の様子

★ facebookページ「武蔵野市 Sports for All 情報」 ★

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会、ラグビーワールドカップ2019大会に向けた様々な情報を随時お届けしています。facebookページ「武蔵野市 Sports for All 情報」に、是非「いいね!」をお願いします。



☎ 生涯学習スポーツ課 オリンピック・パラリンピック担当

「駅伝大会・マラソン大会」を開催しました

3月5日(日)第57回市内駅伝競走大会、第26回市民健康マラソン大会が開催され、晴天の中、駅伝118チーム、マラソン164名が参加して日頃の練習の成果を発揮しました。地域の大学からボランティアスタッフの協力、4社の企業の協賛を頂き、また来場者へ大会の愛称募集を行うなど新しい取り組みもして大会を盛り上げました。今後、市報等を通じて大会の愛称を広く募集していく予定です。



☎ 生涯学習スポーツ課 スポーツ振興係

武蔵野生涯学習振興事業団特別企画 「ボッチャを知らう!」を開催しました

2月5日(日)総合体育館で、リオ2016パラリンピック銀メダリストの杉村英孝選手と村上光輝コーチによる、講演とボッチャ体験会を開催しました。誰もが楽しめる競技ながら戦術面で奥が深く、参加者は「ねらった場所にボールがいかず難しい」と言いながらも、「またやりたい」等の感想を述べていました。世界レベルの技やメダルの披露もあり、多くの方にボッチャの楽しさを伝えることができました。



☎ 生涯学習スポーツ課 スポーツ振興係

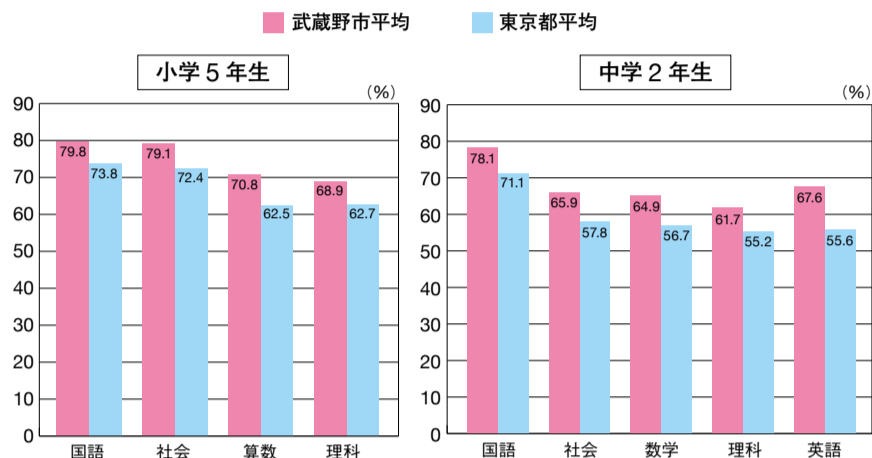
杉村選手に挑戦

平成28年度 東京都「児童・生徒の学力向上を図るための調査」の結果について

「児童・生徒の学力向上を図るための調査」は学習指導要領に示されている教科の目標や内容の実現状況及び読み解く力に関する定着状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証してその充実・改善を図ること、さらに、各校の指導方法等に関わる課題・解決策を明確にし、児童・生徒一人一人の学力向上を図ることなどを目的に、東京都が行っている調査です。

結果の概要

東京都全体と武蔵野市平均正答率の比較



結果の分析

すべての教科で東京都の平均正答率を上回っており、基礎的・基本的な学習内容とともに、読み解く力の定着の程度が高いといえます。特に小学校算数では、8.3ポイント、中学校外国語(英語)では12.0ポイント、中学校数学では、8.2ポイント上回っており、基礎・基本の定着が図られているといえます。今後は設問ごとの正答率等の分析により、指導方法の改善・充実に向けた取組を継続していきます。

- 実施時期 平成28年7月7日(木)
- 調査対象 都内の公立小学校5年生及び中学校2年生
小学校第5学年 1,289校 87,598名(武蔵野市 12校 846名)
中学校第2学年 626校 73,281名(武蔵野市 6校 594名)
- 調査内容 ①教科に関する調査
小学校第5学年…国語、社会、算数、理科
中学校第2学年…国語、社会、数学、理科、外国語(英語)
②学習や生活に関する意識調査…調査対象の全児童・生徒
③学校に関する調査…調査対象の全学校

教育委員会の取組

- 調査結果を踏まえ、本市における学習指導の課題や改善点を明確にするとともに、市報やホームページ等を通じて、学力向上の取組の成果や課題に関する積極的な情報発信に努めます。
- 教育課題研究開発校や教育研究奨励校の研究の推進により、市内全校の学力向上や教育課題への取組を充実します。
- 若手教員(1～3年次)の授業力向上のための研修を計画的に実施し、教育アドバイザーによる巡回指導を充実します。
- 授業力向上研修など、授業研究を通じた実践的な研修として、4年次以降の教員を対象とした授業力向上研修や夏季休業中の研修等を充実します。

学校の取組

- 調査結果に基づき、「授業改善推進プラン」を作成し、言語活動の充実、ICT機器の活用、繰り返し学習の重視といった指導方法の工夫・改善に努めます。
- 子どもたち一人一人の習熟の程度に応じたきめ細かな指導を行い、子どもたちの学力の定着と伸長を図ります。
- 教員の授業力向上を図るため、授業研究を主とした校内研修を計画的に実施します。
- 子どもたち一人一人の学習上のつまずきや課題に応じた個別支援教室や学習支援教室等を実施するとともに、学習相談の機会を充実します。

☎ 指導主事

平成28年度 武蔵野市児童生徒表彰

3月4日(土)、大野田小学校けやきホールで表彰式を行い、クラブ活動や部活動、その他の活動において優れた成果を残した市立小・中学校の児童・生徒13組を表彰しました。(敬称略)



第一小学校吹奏楽団



深田真央さん



岸本錬志さん

◆吹奏楽

- 第一小学校吹奏楽団
第16回東日本中学校吹奏楽大会
小学校部門 銀賞
- 第三小学校吹奏楽団
第22回日本管楽合奏コンテスト
小学校部門 優秀賞
- 関前南小学校吹奏楽クラブ
第35回全日本小学校バンドフェスティバル
東京都大会 金賞

◆水泳

- 井口 詩音(桜野小6年)
第39回全国JOCジュニアオリンピック
カップ夏季水泳競技大会
女子200mフリーリレー 第2位
女子200mメドレーリレー 第5位
- 帆足 優宏(四中3年)
第40回関東中学校水泳競技大会
男子100m自由形 第6位
- 鈴木 希彩(六中2年)
第68回東京都中学校選手権水泳競技大会
女子400m個人メドレー 第7位

◆俳句

- 秋山 樹(大野田小3年)
第55回全国俳句大会
ジュニアの部 優秀賞

◆相撲

- 佐藤 秀梧(二小5年)
第28回わんぱく相撲東京都大会
5年生男子の部 大関

◆ホルン

- 智田 あか音(三中1年)
第18回日本ジュニア管打楽器コンクール
ホルンの部小学生コース 金賞

◆ピアノ

- 深田 真央(井之頭小2年)
ピティナピアノコンペティション
全国決勝大会 A1級 金賞

◆書道

- 北嘉多 莉歩(二小3年)
第66回全国書道コンクール
毛筆の部小学3年 最優秀大賞

◆アイスホッケー

- 若林 泰平(境南小4年)
第4回全日本小学生低学年選抜アイス
ホッケー大会 優勝

◆フェンシング

- 岸本 錬志(四小6年)
第2回全国小学生フェンシング選手権大会
小学5・6年男子フルレ 第10位

☎ 教育企画課 教育企画係

平成28年度 武蔵野市子ども図書館文芸賞

武蔵野市子ども文芸賞は、平成28年度に募集内容を変更し、新たに「武蔵野市子ども図書館文芸賞」としました。

第1回目の募集には、市内在住・在学の小・中学生から1,002作品の応募が寄せられ、審査の結果、19人が受賞しました。市内3つの図書館では、受賞作品集をご覧いただけます。

金 賞

- ◆小説・童話・ずい筆
船越 翠(四中2年)
- ◆詩
井口明日香(五中2年)
- ◆読書感想文
石田 咲基(成蹊小1年)
- ◆読書感想画・POP・帯
青木 咲奈(二小2年)

審査員特別賞

- ◆小説・童話・ずい筆
青本 莉子(大野田小3年)
- ◆詩
杉井 咲斗(五中2年)
- ◆読書感想文
井上 友翔(成蹊小3年)
- ◆読書感想画・POP・帯
一井 駿(桜野小6年)

銀 賞

- ◆小説・童話・ずい筆
竹田 龍(桜野小2年)
山崎 いろは(関前南小4年)
榎本 千景(五中2年)
- ◆詩
遠矢 真子(二小2年)
池田 和花(桜野小6年)
山下 誠弥(五中1年)
- ◆読書感想文
中島 結衣(成蹊小3年)
有本 瑠南(桜野小4年)
前野 萌香(吉祥女子中1年)
- ◆読書感想画・POP・帯
山崎 愛菜(五小6年)
脇 遥華(四中2年)



船越翠さん



井口明日香さん 石田咲基さん 青木咲奈さん

☎ 中央図書館

特別支援教室とひまわり学級の開設

1

平成29年4月から 小学校の通級指導学級「はなみずき学級・かわせみ学級・こぶし学級」が「特別支援教室」に変わります

(1) これまでの通級指導体制

小学校の通常の学級に在籍している発達障害等のある児童の一部（平成28年度 約130名）は、週1回程度、第四小学校・井之頭小学校・桜野小学校に設置されている通級指導学級（はなみずき学級・かわせみ学級・こぶし学級）に通い、特別な指導を受けていました。これまでの体制では、他校への通級に抵抗感や負担感が生じる、児童の在籍学級と通級指導学級の連携が図りにくいなどの課題がありました。

(2) 特別支援教室の導入と効果

平成26年度に東京都が実施した調査では、発達障害の可能性のある児童は本市で全児童の6.5%おり、すべての小学校に在籍していると推測されます。東京都の制度改正により、平成28年度から平成30年度にかけて、都内の全公立小学校に特別支援教室が設置され、教員が児童の在籍校を巡回して指導（教科の補充指導や小集団によるコミュニケーション指導）を行う形態に変更になります。武蔵野市では平成29年4月に本格導入し、対象児童は通常の学級に在籍し週2～3時間程度特別支援教室に通います。

特別支援教室体制

すべての市立小学校に特別支援教室を設置し、拠点校から教員が巡回して指導する。



期待される効果

- ・全小学校で特別支援教室を導入することで、より多くの児童が支援を受けられるようになる。
- ・児童の在籍学級担任と巡回指導教員との連携が緊密になり、児童の状態や在籍学級の状況により即した指導が可能になる。
- ・教職員や保護者が特別支援教育や発達障害を知る機会が増える。

(3) 武蔵野市における特別支援教室のグループ編成

特別支援教室の名称	拠点校	巡回校
はなみずき教室	第四小学校	三小・大野田小・本宿小
かわせみ教室	井之頭小学校	一小・五小・関前南小
こぶし教室	桜野小学校	二小・境南小・千川小

問 教育企画課 教育企画係

2

平成29年4月に第三小学校に特別支援学級「ひまわり学級」を開設します

(1) 新設の背景

本市の小学校の特別支援学級（障害種別：知的障害）の児童数は、増加傾向にあり、平成28年度は約50名となっています。本市では、地域リハビリテーションの理念に基づき、地域に基盤を置いて、福祉やまちづくりの施策を進めています。現在、特別支援学級は中央地区の大野田小学校、西部地区の境南小学校に設置されていることから、地域の中で児童の成長を支えていくため、東部地区の第三小学校に新設します。

(2) 学区域

	平成28年度までの学区	平成29年度 新設後の学区
大野田小学校 むらさき学級	一小・三小・四小・大野田小・本宿小・井之頭小	一小(中町)・大野田小・井之頭小(中町)・五小・千川小
境南小学校 けやき学級	二小・五小・境南小・千川小・関前南小・桜野小	二小・境南小・関前南小・桜野小
第三小学校 ひまわり学級		一小(吉祥寺本町)・三小・四小・本宿小・井之頭小(吉祥寺本町・御殿山)



(3) 学級概要

ひまわり学級は、学籍を置き毎日通う固定学級です（週1回程度通う特別支援教室とは異なります）。児童の状態に合わせて、小グループを編成して学習を進めます。通常の学級との交流などを通して、お互いの理解を深める活動も行います。

第三小学校の校舎1階西側に設置します。



問 教育支援課 特別支援教育・教育相談係

教育委員会の会議（12月～3月）

市の教育に関する様々な施策は、教育長と4人の教育委員による会議で決めています。この間、定例会を4回、臨時会を1回開催し、8の議案、1の協議事項、28の報告事項について話し合いました。

◆教育委員会定例会を傍聴しませんか？

教育委員会では毎月、定例会（臨時会）を開催しています。

定例会等は原則公開ですので、希望される方は、市役所5階教育企画課へお越しください。

※議事により非公開になる場合があります。

※当日傍聴前に申請書をご記入いただきます。

◆今後の定例会の予定 ※変更する場合があります。

平成29年4月5日(水) 10:00～、5月2日(火) 10:00～

6月7日(水) 10:00～、7月5日(水) 13:30～

問 教育企画課 教育企画係

社会教育委員の会議（12月～3月）

社会教育委員は、主に学校教育以外の青少年及び成人に対して行われる組織的な教育活動に関して、教育委員会へ助言することを目的に設置されています。

◆協議事項 など

・管外研修で「地域にひらかれた図書館(書店)」をテーマに山梨県立図書館・春光堂書店を視察し、意見交換等をおこないました。

・平成28年度の振り返りと、次年度に向けた生涯学習の取り組みについて意見交換しました。

・定例会を2回開催しました。



本を中心としたまちづくりの取組を視察

問 生涯学習スポーツ課 生涯学習係

教育委員の就任



小出正彦氏

1月1日付けで小出正彦氏が教育委員に就任しました。小出氏は武蔵野市社会教育委員、武蔵野市立小中学校PTA連絡協議会会長などを歴任。教育委員は議会の同意を得て市長が任命します。任期は平成32年3月31日までです。

問 教育企画課 教育企画係

子育てや学校生活で悩んでいる方へ

教育支援センターでは、専門の相談員（臨床心理士）が、子育て、心や身体の発達、いじめ、不登校などの相談をお受けします。

教育相談 ☎0422-60-1899

所在地 吉祥寺北町4-11-37 大野田小学校 地下1階
受付 月～金曜日(祝日を除く) 9:00～17:00



問合せ

指導主事	(60) 1898
教育企画課 教育企画係	(60) 1894
教育支援課 特別支援教育・教育相談係	(60) 1908
生涯学習スポーツ課 生涯学習係	(60) 1902
生涯学習スポーツ課 スポーツ振興係	(60) 1903
生涯学習スポーツ課 オリンピック・パラリンピック担当	(60) 1970
中央図書館	(51) 5145